


東京工芸大学「学生による工・芸共同研究」成果報告書

共同研究 責任者	所属: 芸術学部 アニメーション学科	学籍番号: 0925061	氏名: 戸田寛明	
申請活動名	アニメ インスタレーション プロジェクト			

指導(支援)教員名	所属・職位	役割分担	
木船園子	アニメーション学科・教授	制作指導	
参加した学生の氏名・所属・役割分担			
所属: アニメーション学科 4年	氏名: 中山 恵里	役割: デザイン制作	
所属: アニメーション学科 4年	氏名: 平川 侑樹	役割: 外装デザイン制作	
所属: アニメーション学科 3年	氏名: 松尾 駿	役割: 制作進行	
所属: アニメーション学科 3年	氏名: 萬代 彩佳	役割: デザイン制作	
所属: 電子機械学科 3年	氏名: 山田 翔太	役割: 機械制作	
所属: 電子機械学科 3年	氏名: 宮代 雄大	役割: 機械制作	
所属: 電子機械学科 2年	氏名: 坂本 一浩	役割: 機械制作	
所属: 電子機械学科 2年	氏名: 中山 諒也	役割: 機械制作	
所属: 電子機械学科 2年	氏名: 青木 郁弥	役割: 機械制作	
合 計	10	名	
活動の内容(できるだけ詳しく)			
<p>昨年アニメーション学科-木船研究室と電子機械学科-鈴木研究室が合同で、『アニメーションランタン』という作品を制作した。これは、日本の伝統的な照明器具である『行燈』と、アニメーションの伝統的手法である『驚き盤』(洋名『フェナキスティスコープ』)を組み合わせ、世界唯一のアニメーションインスタレーション作品を目指したものである。</p> <p>今回は、前回の『アニメーションランタン』の原理を応用した『灯籠-AnimationMiniLantern-』を4台制作した。前回使用したステッピングモーターにゾートロープを装着し自立回転させた機構を、灯籠の中に入れ内から外に向かって光を当てることにより、モニターもプロジェクターも必要としない「アニメーションによる回り灯籠」の形態をとった映像装置(インスタレーション)である。</p> <p>また、今回はインスタレーション作品である『幻灯俳句-HaikuMagicLantern-』も制作した。システムとしては、俳句が書いてある短冊にICチップを張っておき、短冊をセンサーにかざすと俳句に対応したアニメーションがプロジェクターで映し出されるという仕組みである。</p> <p>『行燈-AnimationLantern-』、『灯籠-AnimationMiniLantern-』、『幻灯俳句-HaikuMagicLantern-』の3つの作品で、日本の四季をテーマとして、伝統的な和の灯りと映画前史の驚き盤・ゾートロープというアニメーション装置を融合させ、インスタレーション作品として一つの完成形を示すことができた。(別紙資料参照)</p> <p>作品は、木船ゼミ展2013に出展し、また『行燈-AnimationLantern-』は、学生CGコンテストにてノミネートされた。</p> <p>「東京工芸大学Co-G.E.I.チャレンジ2012(学生による工・芸共同研究)により活動費の支援があったからこそ今回のプロジェクトは実現できた。</p>			

活動のスケジュール

- ・7月 基礎技術の学習 作品考案
- ・8月 プロトタイプ作成開始
- ・9月 第18回学生CGコンテスト応募
- ・10月 『灯籠-AnimationMiniLantern-』試作品制作 第18回学生CGコンテストノミネート
- ・11月 『行燈-AnimationLantern-』の調整
- ・12月 第18回学生CGコンテスト Campus Genius Meetingに他受賞者との交流
- ・1月 『灯籠-AnimationMiniLantern-』完成
- ・2月 『幻灯俳句-HaikuMagicLantern-』試作品完成 『灯籠-AnimationMiniLantern-』量産
- ・3月 木船ゼミ展2013「行進-Parede-」にて全作品を展示

活動により得られた成果

制作した作品『行燈-AnimationLantern-』が、第18回学生CGコンテストにてノミネートされた。※1このことにより、本学で制作した作品を、広く内外に向けて発信することができた。特に、学生CGコンテストノミネートされたことにより、webなどに取り上げられたことにより、広報的効果が行えた。また、木船ゼミ展2013「行進-parade-」にてすべての作品を展示することにより、東京工芸大学が芸術学部と工学部を持つ他に類を見ない学校であることを作品を通じて広めることができたと思われる。※2

これにより、工学的知識と芸術的知識の融合に対する、有用性の理解が深めることができ、工と芸が融合しなければ完成させることができない作品を制作することに成功した。

※1 <http://www.cgarts.or.jp/scg/2012/nominated.html#>

※2 <http://www.kifune-zemi.net/plan.html#>

今後の活動予定

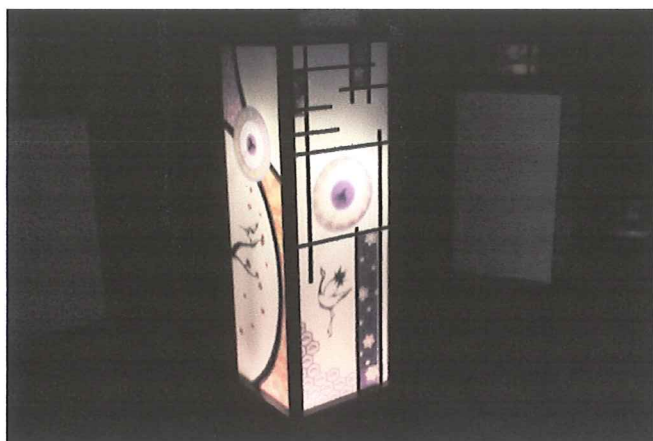
今回のプロジェクトで制作した、『行燈-AnimationLantern-』、『灯籠-AnimationMiniLantern-』、『幻灯俳句-HaikuMagicLantern-』の3つの作品をデザインフェスタなどの展示会や各コンペティションに応募し、さまざまな人に作品を見てもらう活動を行っていく。そこで得た経験や意見を用い今後の作品に生かしていく。

活動経費 670000円

1. 物品費		(円)
機器備品支出	0	(円)
用品費・消耗品費	489710	(円)
図書・図書資料費	0	(円)
その他物品費	0	(円)
2. 活動費		(円)
旅費	700	(円)
通信運搬費	75840	(円)
印刷製本費	0	(円)
業務委託費	51000	(円)
諸会費	0	
その他活動費	52750	(円)
経費合計	670000	(円)

別紙資料

『行燈-AnimationLantern-』



『灯籠-AnimationMiniLantern-』





『幻灯俳句-HaikuMagicLantern-』



木船ゼミ展 2013 「行進・Parade-」 展示風景

